

## 1. 平成22(2010)年度 研究助成一覧

### (1) 交通事故・各種災害の防止等分野

No.	研究代表者	研究課題
1	大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 准教授 飯田 克弘	高速道路の情報板における図形表示のガイドライン策定にむけた基礎的研究
2	独立行政法人産業技術総合研究所 研究グループ長 岩木 直	簡便な日常的疲労計測技術を用いた安全運転のための疲労管理システムの開発
3	(財)日本自動車研究所 安全研究部 研究員 大谷 亮	役割演技法を用いた交通安全教育による児童の自己評価スキルの変化と行動変容に関する研究
4	高田短期大学 子ども学科 助教 小池 はるか	ルールと罰則の適切なバランスに関する検討 ―後部ベルト義務化を事例とした検討―
5	東京都健康長寿医療センター 研究所 非常勤研究員 桜井 良太	高齢者は安全かつ正確に道路を横断できるか? ―自己身体能力認識と速度知覚からの行動科学的検討―
6	近畿大学 工学部 機械工学科 准教授 樹野 淳也	プレーキ灯の仕様が後方車両のドライバへ及ぼす影響に関する研究
7	滋賀医科大学 医学部解剖学講座 生体機能形態学部門 助教 松田 和郎	外傷後遷延性意識障害者の慢性期実態調査と神経学的・神経放射線学的診断による病態解明
8	千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科 准教授 望月 悦子	高速道路運転時の光色変化が視認性に与える影響
9	立正大学 心理学部 専任講師 山村 豊	高齢ドライバーの軽度認知障害アセスメントの試作
10	芝浦工業大学 工学部 機械機能工学科 准教授 山本 創太	粒子法シミュレーションの臓器傷害解析への適用の検討
11	ナンヤン工科大学 准教授 Wong Yiik Diew	Mobility of visually-handicapped pedestrians – crossing behaviour and assistive design/technologies at signalised pedestrian crossing 視覚障害のある歩行者のモビリティ ― 信号機のある交差点での横断行動とそれをアシストするデザインとテクノロジー
12	チュラロンコン大学 工学部 土木工学科 助教 Kasem Choocharukul	An Experimental Analysis of Factors Affecting Nighttime Visibility of Traffic Signs 交通標識の夜間の視認性に影響する要素の実験分析
13	チュラロンコン大学 工学部 土木工学科 助教 Jittichai Rudjanakanoknad	Road Safety Score in Thailand:What It Means for Engineers, Drivers, and Actual Accident Rates タイの道路安全スコア:エンジニア、ドライバー、および実際の事故発生率にもつ意味

No.	研究代表者		研究課題
14	マヒドン大学 子供と家族の発展のための国立研究所 講師	Wimontip Musikaphan	Senior citizens: What they really need for public mass transportation 高齢者:彼らが公共交通機関に真に求めていること
15	マヒドン大学 国際校 学部長補佐	Udomrat Tivasub	Risk Behaviours and Attitudes of Truck Drivers toward Road Safety トラックドライバーの道路交通安全に背く危険な行動・態度

## (2)高齢者福祉分野

No.	研究代表者		研究課題
1	東邦大学医療センター 佐倉病院 講師	青木 保親	高齢者腰痛に対する保存的治療法(神経ブロック療法、運動療法)の治療効果検証および治療法選択指針の確立に関する研究
2	大阪府立大学 看護学部 准教授	和泉 京子	社会経済格差による健康格差をふまえた国民健康保険加入者の壮年期から高齢期までの継続的な支援方略の開発
3	東北大学大学院 環境科学研究科 助教	伊野 浩介	在宅医療に向けた検査用小型チップデバイスの開発
4	東京都健康長寿医療センター 研究所 主任研究員	内田 洋子	アルツハイマー病早期診断のための髄液バイオマーカーの開発
5	岩国短期大学 身体運動制御研究室 専任講師	王 芸	高齢者の随意的姿勢コントロール機能の解明とトレーニングプログラム開発研究:転倒予防の視点から
6	東京大学大学院 医学系研究科加齢医学講座 医員	大田 秀隆	高齢者認知症評価測定マーカーの検索ー長寿遺伝子Sirt1を中心にー
7	奈良県立医科大学 医学部住居医学講座 助教	大林 賢史	高齢者の光住環境がメラトニン分泌および夜間睡眠・血圧変動に及ぼす影響に関する横断研究
8	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 分子ニューロイメージング 独立准教授	岸 将史	タウオパチーの早期診断を可能にする新規PETプローブの開発
9	東京大学大学院 総合文化研究科(身体運動) 助教	久保 啓太郎	ヒト生体における腱組織の加齢現象に対する運動および遺伝子多型の影響
10	宮崎大学 医学部解剖学講座 分子細胞生物学分野 助教	齋藤 敦	骨系統疾患の新規治療戦略の開発
11	京都大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 研究生	関谷 徹治	再生医学的アプローチ(細胞移植)による老人性難聴の克服
12	台湾国立雲林科技大学 建築及室内設計学科 准教授	曾 思 瑜	台湾の高齢者施設に適した「認知症高齢者への環境支援指針PEAPに基づく環境改善手法」の開発に向けた実践的研究

No.	研究代表者		研究課題
13	国立病院機構東京医療センター 臨床研究(感覚器)センター 分子細胞生物学研究部 研究員	高田 雄一郎	高齢者視覚障害疾患、加齢黄斑変性の発病機序における疾患感受性遺伝子ARMS2の役割
14	東洋大学 法学部 准教授	太矢 一彦	リバースモーゲージの立法的提言に向けてーピアジェとの比較における実態調査研究ー
15	国立病院機構東京病院 臨床研究部 副部長	寺本 信嗣	長寿社会の新肺炎、医療ケア関連肺炎(Health-care-associated pneumonia, HCAP)の実態と至適療法の開発
16	千葉大学医学部附属病院 整形外科 医員	中村 順一	高齢者における変形性股関節症の疼痛機序の解明と創薬への応用
17	名古屋市立大学大学院 薬学研究科分子生物薬学分野 講師	西塚 誠	脂肪細胞ならびに骨細胞分化を制御する遺伝子fad104に着目した肥満および骨粗鬆症治療薬開発のための基礎研究
18	慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 医療マネジメント専修 大学院生	早川 三津子	高齢者施設における契約能力に問題がある入所者の代理契約の実態とあり方の検討
19	岐阜大学大学院 医学系研究科 神経内科・老年学分野 助教	林 祐一	運動療法による $\beta$ アミロイド凝集抑制効果の分子メカニズムの解明と認知症予防法への応用
20	京都大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師	平野 滋	高齢者の声帯萎縮に対する再生医療の確立
21	京都大学大学院 医学研究科 内分泌代謝内科 助教	三浦 晶子	脱落乳歯由来歯髓幹細胞の細胞生物学的解析を応用した新たな骨粗鬆症治療法の開発
22	京都大学大学院 医学研究科 歯科口腔外科 助教	家森 正志	高齢者の個々人の咀嚼能力に応じた食生活・栄養改善による生活習慣病予防のための疫学的研究
23	シンガポール国立大学 准教授	Tan Kok Kiong	Development of e-Guardian for the single elderly or the chronically-ill patients 独り暮らし高齢者あるいは慢性疾患患者をガードする電子機器(e-Guardian)の開発
24	シンガポール国立大学 外科 助教授	Ho Pei, Jackie	Anatomical analysis of Acute Aortic Dissection in Elderly using Computed Tomography post-processing measurement CTスキャン断層写真による予後測定を使った高齢者の急性大動脈解離の解剖学上の分析
25	シンガポール国立大学 リー・クアンユウ公共政策学校 大学院生	Ng Tze Lin Tania	Enhancing Cooperation and Sustaining Long-term Collective Action in Elderly Community Programs 老人活動クラブにおける協調関係の向上と集団活動の長期的持続

## 1. 平成21(2009)年度 研究助成一覧

### (1) 交通事故・各種災害の防止等分野

No.	研究代表者	研究課題
1	財団法人神経研究所 附属睡眠学センター 流動研究員 阿部 高志	睡眠不足や睡眠問題が関与する交通事故の実態調査と予防法に関する研究
2	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授 江守 陽子	妊娠女性の昼間の眠気と睡眠時無呼吸症候群
3	九州大学大学院 工学研究院 准教授 大枝 良直	高齢者が混入する階段空間及び歩行・自転車混合空間の安全性と交通流制御設備の効果に関する研究
4	国立岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科 助教 坂本 淳	高速道路利用直後の車両に着目した走行特性の定量化に関する研究
5	東北大学大学院 情報科学研究科 大学院生 櫻井 美由紀	高齢者での加齢による注意機能の変化と時刻の影響
6	筑波メディカルセンター病院 放射線科 科長 塩谷 清司	交通事故関連死におけるオートプシーイメージング(死亡時画像診断)
7	首都大学東京 システムデザイン学部 助教 中楯 浩康	外部衝撃による脳損傷生成において脳内圧力変動が血管組織に与える影響
8	千葉県救急医療センター 脳神経外科 医療局長 中村 弘	地域における頭部外傷後高次脳機能障害に対する支援システム構築の試み
9	大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学 助教 樋口 周久	交通事故による難治性骨折に対する新規治療法の開発 ～連通多孔体ハイドロキシアパタイトと3次元培養組織を用いた骨折癒合促進～
10	千葉大学大学院 工学研究科 准教授 丸山 喜久	道路橋地震応答のCGシミュレーションに基づく自動車運転者の地震時反応特性の評価
11	国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 運動機能系障害研究部 流動研究員 森岡 和仁	リハビリテーション介入による脊髄損傷の機能回復メカニズムの解明 ―効果促進作用を有する治療標的分子の探索―
12	呉工業高等専門学校 准教授 山岡 俊一	生活道路における原動機付自転車と自動二輪車の走行速度抑制効果に関する調査研究
13	日本医科大学武蔵小杉病院 小児科 臨床心理士 吉野 美緒	DA(Doctor Ambulance) 活動に伴う医療者の心的ストレス及び心的外傷に関する研究
14	帝塚山大学 心理福祉学部心理学科 教授 蓮花 一己	高齢ドライバーのリスク回避およびリスクテイキング行動の実証的研究

No.	研究代表者		研究課題
15	シンガポール国立大学 教授、研究支援担当ディレクター	NEE Yeh Ching Andrew	Augmented Reality-Enhanced Navigation Assistance System 拡張現実を強化したナビゲーション支援システム
16	メーファールアン大学 情報技術学部 講師(Aijhan)	Dr John Chiverton	Automatic computer based detection of motorcycle riders without helmets using state of the art computer vision 最高水準のコンピュータビジョンの技術を使用した、ヘルメットを 着用しないバイク運転者のコンピュータによる自動探知
17	ナレースワン大学 建築学部 講師	Dr. Witiya Pittungnapoo	A Study on Criteria of Urban Design for Supporting Traffic System in University in University Towns: Assessing the Impacts of Street Furniture on Traffic Safety, A Case Study of Naresuan University. 大学町の大学における交通システムを支援するための都市デ ザイン基準の研究:ストリートファニチャーの交通安全への影響 の評価(ナレースワン大学の事例研究)
18	コーンケン大学 公衆保健学部保健教育科 准教授	Dr. Chulaporn Sota	The Role of School Director for Safety Behavior Management in Secondary School, Khon Kaen Province, Thailand. タイ国コーンケン県の中学校における安全行動管理について の学校管理者の役割
19	アジア工科大学(AIT) 助教授	Kunnawee Kanitpong	“Analysis of Accident Cost in Thailand by Willingness-To-Pay Method” 支払意思額方式によるタイにおける事故コストの分析

## (2)高齢者福祉分野

No.	研究代表者		研究課題
1	岐阜大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師	青木 光広	高齢者におけるウォーキング中のバランス制御関連筋群の中枢 制御機構からみた平衡能力評価 ～歩行中の転倒防止・ウォー キングの効果向上のために～
2	徳島大学医学部大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 准教授	安部 秀斉	細胞老化制御因子Flashの機能解析による加齢にもなう腎機 能低下の機構解明
3	東京大学大学院 薬学系研究科 特任助教	五十嵐 中	高齢者の在宅医療の薬剤使用実態調査を通じた薬剤管理・ QOL(生活の質)に関する調査研究
4	医療法人溪仁会西円山病院 医長	磯部 健	高齢者でのアディポネクチン、DHEASと動脈硬化性疾患との関 連
5	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 准教授	市川 政雄	運転免許証の自主返納が可能な生活環境と高齢者支援のあり 方に関する研究
6	京都大学大学院 医学研究科臨床神経学 助教	猪原 匡史	生活習慣の改善と環境エンリッチメントによる血管性認知症の 進行予防効果の検討
7	武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科 教授	大西 次郎	施設利用高齢者の重度・重症化へ即した、特別養護老人ホーム における終末期ケア体制の構築に関する研究
8	東京大学医学部附属病院 老年病科 講師	小川 純人	地域在住高齢者における転倒リスクと介護予防指標の加齢変 化および関連性についての研究

No.	研究代表者		研究課題
9	日本社会事業大学大学院 社会福祉学研究科 大学院生	姜 文熙	認知症介護専門職における職業能力評価尺度の開発に関する研究 ―認知症介護専門職における職業能力の評価基準と評価項目の作成
10	東京女子医科大学 医学部 法医学講座 主任教授	木林 和彦	都市部における高齢者死亡事故予防のための事故発生現場の調査分析
11	佐賀大学 理工学部 都市工学科 教授	清田 勝	買い物不便地区の抽出と高齢者支援システムの構築
12	東京都健康長寿医療センター・ 東京都老人総合研究所 主任研究員	佐々木 徹	酸化ストレスの関与する抗老化法の検証と開発に関する研究
13	広島国際大学 薬学部 准教授	杉原 数美	高齢在宅患者宅で発生する残薬を含む医療廃棄物の保管・処理の実態調査と適正化マニュアル作成
14	福岡歯科大学 講師	鈴木 奈央	乳酸菌配合オイルを利用した高齢者の口腔の健康増進におけるプロバイオティクス効果
15	東京工業大学大学院 生命理工学研究科 助教	高橋 剛	アルツハイマー病アミロイドペプチド構造を模倣したタンパク質抗原を用いたアミロイド中和抗体の作成
16	神戸大学大学院 保健学研究科 准教授	長尾 徹	日常使用する家電製品の改良による在宅独居認知症者への生活支援
17	佐賀大学 医学部 循環器・腎臓内科 教授	野出 孝一	高齢者における心不全在宅医療の推進に関する研究
18	東京都健康長寿医療センター・ 東京都老人総合研究所 研究員	朴 眩泰	高齢者の日常身体活動と筋骨格系疾患の関係;加速度計を用いた10年間の縦断研究
19	財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 研究主幹	羽田 敦子	高齢者における免疫賦活によるウイルス感染症予防の研究
20	岡山大学大学院 社会文化科学研究科 大学院生	畠中 香織	高齢者介護現場における外国人看護師・介護士 ―高齢者への安全で質の高い異文化間ケアの課題―
21	金沢大学 医薬保健研究域薬学系 准教授	檜井 栄一	時計遺伝子を標的とした新規骨粗鬆症治療法の開発研究
22	京都大学大学院 医学研究科循環器内科学 産学官連携助教	平岡 義範	エネルギー代謝および老化におけるナルディライジンの役割の解明
23	日本社会事業大学大学院 社会福祉学研究科 大学院生	廣瀬 圭子	要介護高齢者の夜間対応型サービスと介護者の健康・社会参加との関連性
24	日本社会事業大学大学院 大学院生	黄 才榮	在日コリアン高齢者の在宅介護サービスにおけるアセスメントの現状と課題について ～現在処遇しているまたは処遇経験がある介護支援専門員への実施調査を中心に～

No.	研究代表者		研究課題
25	千葉大学大学院 医学研究院細胞治療学 助教	藤本 昌紀	新規エネルギー代謝抑制因子Twist1の活性調節機構の解析 ～高齢者の肥満、変形性膝関節症の負のスパイラル撲滅を目指して～
26	北海道大学大学院 工学研究科 准教授	森 傑	過疎地域のコミュニティ賦活へ向けての大規模小売店舗の公 共的可能性と社会的企業論
27	東京都健康長寿医療センター・ 臨床研究推進センター 部長	森 聖二郎	遺伝子情報を活用した骨粗鬆症性骨折のリスク評価方法の確 立とその臨床応用 ―オーダーメイド骨粗鬆症診療システムの 開発―
28	島根大学 医学部 内科学講座 准教授	山口 徹	2型糖尿病における骨脆弱性の本態及び糖代謝と骨代謝の相 互作用の解明
29	シンガポール国立大学 アリス・リー看護学センター 助教授	Dr. CHAN Moon Fai	What factors contribute to life expectancy: comparison of ASEAN countries in the 21st Century いかなる要因が平均寿命の向上に貢献するか:21世紀の ASEAN諸国間の比較
30	シンガポール国立大学 助教授	Steven Graham	Enhancing Exercise-mediated Longevity and Brain Function in the Elderly 運動を媒介とした高齢者の寿命と脳機能の向上
31	シンガポール国立大学 精神医学科 研究員	Lena Lim	Living alone, Loneliness and Health of the Elderly 高齢者の一人暮らし、孤独と健康

## 1. 平成20(2008)年度 研究助成一覧

### (1) 交通事故・各種災害の防止等分野

No.	研究代表者	研究課題
1	人と防災未来センター 研究員 宇田川 真之	災害時における救援物質の輸送効率化にむけた調査研究
2	横浜創英短期大学 看護学科精神看護学担当 准教授 江藤 和子	飲酒事故防止改善を目的とした安全教育システムの開発と実践 ー効果的対策の具体化に関する心理的研究ー
3	東海学院大学 人間関係学部心理学科 助教 大澤 香織	交通事故被害者を対象とした精神疾患の発症予防プログラムの効果の検討
4	大阪大学大学院 工学研究科 電気電子情報工学専攻 大学院生 奥野 弘嗣	衝突防止用アナログ・デジタル混在型視覚センサの開発
5	東京医科大学 救急医学 講師 織田 順	リスク管理の面から見た救急医療の標準化を阻害する因子とその解決策に関する研究
6	国立東京工業高等専門学校 機械情報システム工学専攻 准教授 角田 陽	細胞レベルからの解析にもとづく動的衝撃負荷に対する脳損傷発症メカニズムの解明
7	徳島大学大学院 ソシオテクノサイエンス研究部 教授 近藤 光男	高齢者の交通死亡事故現地調査データに基づく心理学および行動学的事故要因解析 ー家庭・日常生活から取り組む交通事故予防策のためにー
8	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授 徳田 克己	子供が安全に移動することができる道路環境に関する研究 ー保護者及び保育者の安全ニーズの明確化と幼児の移動上のバリアの解消に向けてー
9	千葉県救急医療センター 脳神経外科 医療局長 中村 弘	地域における頭部外傷後高次脳機能障害に対する支援システム構築の試み
10	順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科 大学院生 西 泰信	無事故に対するインセンティブが運転行動に与える効果について
11	獨協医科大学 法医学講座 准教授 一杉 正仁	妊婦自動車乗員の安全確保に関する効果的教育法の開発 ー正しいシートベルト着用に向けてー
12	日本大学 理工学部 社会交通工学科 教授 福田 敦	大規模商業施設の立地に伴う交通事故発生の要因分析
13	トロントリハビリ病院 ポストドクトラルフェロー 宮谷 昌枝	外傷性脊髄損傷受傷後に多発する心臓病リスクスクリーニング手法としての血管スティッフネス評価 (Pulse Wave Velocity:PWV)の妥当性検証
14	<シンガポール> 国立教育大学 助教授 Yau Che Ming	Conceptualize possibilities, design and make prototypes for gadgets that improves traffic safety with Secondary Students in Singapore (シンガポールの中学生と協働して交通安全のための道具を考案、設計、試作する)

No.	研究代表者		研究課題
15	<タイ> アジア工科大学(AIT) 大学院生	Dinh Van Nguyen	Assessment of running safety and passenger ride comfort of the express railway section (高速鉄道区間の運行安全性と乗客の車上快適度の評価)
16	<タイ> アジア工科大学(AIT) 助教授	Kunnawee Kanitpong	Evaluation of Drivers' Attitudes on Speed Management Strategies (速度管理施策に関する運転者の受け止め方の評価)
17	<タイ> マヒドル大学国際校 研究室長	Kawin Pla-on	The Factors That Influence Pedestrians Not To Use Overhead Walkways In Buddhamonthon, Nakhonpathom (ナコーンパトムのブッダモンthonにおける歩行者の歩道橋不使用に影響を与える要因)

## (2)高齢者福祉分野

No.	研究代表者		研究課題
1	京都大学医学部附属病院 探索医療センター 教授	赤水 尚史	ペプチドホルモン・グレリンの新たな高齢者医療への応用
2	東京大学大学院 医学系研究科 加齢医学 准教授	秋下 雅弘	男性ホルモンの低下が虚弱高齢者の生命および機能予後に与える縦断臨床研究
3	徳島大学病院 検査部 講師	安部 秀斉	加齢に伴う腎機能低下の原因としての細胞老化促進機構の解明
4	千葉大学大学院 看護学研究科 助教	飯田 貴映子	高齢者長期ケア施設における外国人看護職、介護職の就労に関する現状と雇用施設のマネジメント体制に関する調査
5	京都大学大学院 医学系研究科 人間健康科学系専攻 助教	池添 冬芽	虚弱高齢者に対する不安定傾斜板を用いた動的姿勢制御トレーニングの効果検証に関する実践研究
6	早稲田大学 人間科学学術院 教授	石田 敏郎	誤薬を低減させるための与薬行動モデルに関する実証的検証
7	東京大学医学部附属病院 助教	市川 幹	骨髄異形成症候群における造血幹細胞異常の分子機構の解明
8	東京都老人総合研究所 研究員	伊東 美緒	要支援高齢者が幼稚園(保育園)児に特技を伝えることの主観的幸福感への影響
9	東北大学大学院 医学系研究科障害科学専攻 内部障害学分野 大学院生	今西 里佳	要介護高齢者に対する新しい排尿障害調査法と治療法の開発・検証 ～おむつを使用しない排尿管理を目指して～
10	東北大学大学院 医工学研究科骨再生医工学分野 教授	鎌倉 慎治	新規骨再生材料による咀嚼機能改善のための橋渡し研究
11	京都大学大学院 人間・環境学研究科 准教授	神崎 素樹	足裏感覚へのノイズ刺激が高齢者の立位バランス能力を向上させる ～体性感覚情報に着目した高齢者転倒の予防対策の確立に向けて～

No.	研究代表者	研究課題	
12	大阪市立大学 医学部 看護学科・在宅看護学領域 教授	河野 あゆみ	在宅要支援高齢者の介護保険サービス利用が自立支援に及ぼす影響:介護保険サービス利用高齢者と未利用高齢者への2年間の追跡調査からの検討
13	東海大学 医学部 外科学系整形外科学 准教授	佐藤 正人	培養関節軟骨細胞移植による関節軟骨損傷治癒機構の解明と新規細胞移植療法の開発
14	杏林大学 医学部高齢医学 専攻医	園原 和樹	認知症における家族の介護負担:総合的機能評価を用いた検討
15	宮崎大学 医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野 助教	十枝内 厚次	グレリンのエネルギー同化作用を利用した高齢期のサルコペニア改善に関する研究
16	萩市見島診療所 所長	中嶋 裕	離島高齢者医療における肺炎球菌ワクチンの有効性に関する野外研究
17	京都大学大学院 医学研究科 循環器内科学 産学官連携助教	平岡 義範	ナルディライジンによる $\alpha$ セクレターゼ活性調節とアルツハイマー病治療法への応用
18	名古屋市立大学大学院 薬学研究科 教授	平嶋 尚英	改変好塩基球を用いた抗アルツハイマー症の細胞治療の研究
19	国立長寿医療センター研究所 老化制御研究部分子制御研究室 室長	福井 由宇子	加齢に伴う細胞核変化の分子機構と分子制御
20	岐阜大学大学院 医学系研究科神経内科老年学分野 准教授	保住 功	アルツハイマー病等の高齢者神経変性疾患患者における髄液重金属と抗酸化物質の測定と創薬への応用
21	上智大学 理工学部情報理工学科 特別研究員	程島 奈緒	「音声によるバリアフリー」に向けた、公共空間で高齢者が聞き取りやすい拡声音情報の調査
22	京都大学大学院 医学研究科循環器内科 産学官連携助教	堀口 真仁	遺伝子改変を用いた新しい老化モデルマウスの開発
23	福祉村病院 長寿医学研究所 副所長	松山 善次郎	アルツハイマー病における剖検脳を用いたカルシウム(Ca) homeostasis異常による神経細胞死機構の解明
24	東京都老人総合研究所 主任研究員	三浦 ゆり	機能プロテオミクスを用いた新規老化マーカーの開発と応用
25	京都大学大学院 医学研究科 外科系感覚運動系外科学講座 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教	山本 典生	Notchシグナル操作による内耳有毛細胞の再生と老人性難聴治療
26	福島県立医科大学 看護学部 教授	結城 美智子	超高齢の親を在宅介護する高齢者の生活状況と精神的健康に関する研究
27	日本医科大学付属病院 高度救命救急センター 助教	横堀 将司	高齢者心肺停止患者への対応の実態調査 -効率的な高齢者救急医療システムの構築に向けて-

No.	研究代表者		研究課題
28	<シンガポール> 国立シンガポール大学 研究専門官	Tang Kok Zuea	Development of an Intelligent Physiotherapy System (人工知能を備えた理学療法装置の開発)
29	<シンガポール> ナンヤン工業大学 機械・航空宇宙工学研究院 准教授	Patrick S K Chua	Analysis of human walking motion and design and development of an exoskeleton to aid mobility of senior citizens. (人間の歩行動作の分析および高齢者の移動を助ける外骨格的 補助具の設計と開発)
30	<シンガポール> ナンヤン工業大学 准教授	Theng Yin Leng	Promoting Exercise and Healthy Food Consumption: A Study on Senior Citizen's Acceptance and Adoption of Digitally Mediated Fitness Games (運動と健康的な食物摂取の促進: 高齢者のデジタル健康ゲー ムの受容と採用についての研究)

## 1. 平成19(2007)年度 研究助成一覧

### (1) 交通事故・各種災害の防止等分野

No.	研究代表者		研究課題
1	山口大学 医学部整形外科 医員	市原 和彦	脊髄力学特性を導入した有限要素解析を用いた、脊髄障害メカニズム解析 -自動車内安全装置への工学的応用および頸髄疾患の臨床応用-
2	名古屋大学大学院 医学系研究科老年科学教室 助教	梅垣 宏行	高齢ドライバーにおける認知機能低下が車体操作の技能に及ぼす影響の検証
3	富山大学 生涯学習教育研究センター センター長・教授	大石 昂	高齢者ドライバーの視覚に配慮した道路情報板における視覚バリアフリー表示に関する研究
4	広島国際大学 心理科学部 准教授	小川 和久	運転者教育プログラムの運用に関する交通心理学的理論と方法論
5	埼玉大学大学院 理工学研究科 教授	久保田 尚	地区交通安全の事業プロセスがサイレント層の態度および意見に与える効果に関する研究
6	滋賀県立大学 環境科学部環境計画学科 准教授	近藤 隆二郎	自転車タクシー(Velotaxi)の安全性とドライバーの意識に関する研究
7	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 大学院生	椎名 逸雄	自動車乗員の被衝突時における頸部・体幹の筋活動を反映させた人体シミュレーションモデルの作成
8	国立循環器病センター研究所 病因部臨床病理研究室 室長	下内 章人	皮膚ガスから血中エタノールは推定できるか?
9	茨城大学 教育学部 准教授	勝二 博亮	自動車運転中の脳活動に関する研究 -運転適性にNIRSから迫る-
10	名古屋工業大学大学院 工学研究科 助教	鈴木 弘司	横断自転車の錯綜抑制のための交差点設計・運用方策に関する研究
11	大分大学 工学部 准教授	田上 公俊	代替燃料に対応したトンネル内車両火災時の低環境負荷な消火手法の開発
12	武蔵野赤十字病院 脳神経外科部長 東京医科歯科大学 脳神経外科臨床教授	富田 博樹	高齢者頭部外傷における高次脳機能障害
13	聖マリアンナ医科大学 予防医学教室 講師	中原 慎二	救命救急センターの交通外傷患者データを用いた外傷予防を目的とする外傷サーベイランスシステムの構築 -異なる目的をもった(外傷診療の質向上と交通外傷予防)データベースの統合を目指して-
14	日本福祉大学 情報社会科学部 准教授	中村 信次	アルコール摂取がドライバーの高次視覚機能に及ぼす影響

No.	研究代表者		研究課題
15	つくば国際大学 医療保健学部 准教授	縄井 清志	居宅における車いす事故の現状調査
16	大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 教授	新田 保次	貨物車を対象とした音声ナビ付エコドライブ支援機器による交通安全性向上効果分析に関する研究
17	東京工業大学大学院 理工学研究科 助教	松崎 亮介	湿潤・凍結路面でのスリップによる交通事故防止を目的としたインテリジェントタイヤの開発
18	シンガポール国立大学 土木工学部 研究生	Md. Mazharul Haque	Identifying safety consciousness of motorcyclists (バイク運転者の安全意識の確認)

## (2)高齢者福祉分野

No.	研究代表者		研究課題
1	羽衣国際大学 講師	新井 康友	少子高齢社会を担う次世代の人材確保・育成に関する研究
2	東京大学大学院 医学系研究科加齢医学講座 講師	飯島 勝矢	高齢者における慢性腎臓病(chronic kidney disease:CKD)と血管石灰化との関連についての解析-血管石灰化における分子機序の解明と新しい治療法の開発-
3	山口大学 医学部整形外科 医員	市原 和彦	歩行解析法を用いた運動器不安定症、頸髄症とパーキンソン病の鑑別と予後推測法の確立 -高齢者のQOLを向上するために-
4	東京都老人総合研究所 老化ゲノム機能研究チーム 研究員	猪股 光司	T細胞の老齢時機能低下に関わる分子機構の解明と細胞機能回復の試み
5	広島大学大学院 総合科学研究科 准教授	浮穴 和義	院内感染の原因となる薬剤耐性細菌に効果がある抗菌ペプチドの探索と強力合成アナログ分子の開発
6	国立長寿医療センター研究所 生活機能賦活研究部 室長	大金 朱音	高齢者でも安全に行える筋肥大・筋力増大を目的としたレジスタンストレーニング法の開発 -ノンロックスロートレーニング法が高齢男性、女性の骨格筋の構造と機能および運動能力に及ぼす効果-
7	長野県看護大学 助教	太田 規子	介護保険施設における看護・介護職員のサイコロジカル・エンパワーメント・モデルの構築
8	千葉大学大学院 医学研究院整形外科学 助教	大鳥 精司	高齢者膝関節痛に対する対外衝撃波を用いた新たな治療法の確立
9	奈良県立医科大学 医学部 医学科地域健康医学教室 助教	岡本 希	高齢者の咀嚼・嚥下機能と認知機能の関連性についての疫学研究
10	金沢大学大学院 医学系研究科保健学専攻 講師	表 志津子	能登半島地震被災地域高齢者の生活環境の変化と健康状況の推移

No.	研究代表者		研究課題
11	東北大学大学院 医学系研究科 創生応用医学研究センター 准教授	鎌倉 慎治	新規骨再生材料の最適化と咀嚼機能の改善
12	奈良県保健環境研究センター 総括研究員	北堀 吉映	多発する高齢者福祉施設におけるノロウイルスの分子生物学的分類と、それを応用した伝播様式の解析
13	高崎健康福祉大学 健康福祉学部医療福祉情報学科 講師	児玉 直樹	認知症高齢者に対する介入効果判定を可能にした認知機能統合データベースの開発
14	北海道大学大学院 歯学研究科 助教	坂口 究	動的な咬合バランスが平衡機能と身体機能に与える影響ー高齢義歯装着者の咬合・重心動揺・握力の動的・同時・リアルタイム解析ー
15	東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 講師	高橋 強志	高齢者血液悪性疾患に対する免疫細胞療法の開発
16	明治鍼灸大学 看護学部 講師	田口 豊恵	大手術を受けた高齢者の睡眠覚醒リズムとせん妄発症との関連性
17	お茶の水女子大学大学院 人間文化創生科学研究科 研究員	谷口 陽子	災害時の高齢者支援ネットワークの構築に関する考察ー新潟県中越地震被災地長岡市山古志の事例からー
18	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 大学院生	為井 智也	ユーザーの意図に応じたFESによる適応的運動支援システムの開発
19	青山学院大学 法学部 教授	手塚 和彰	介護保険制度における給付、負担、雇用に関する実証的・比較法的研究
20	天理大学 体育学部 教授	中谷 敏昭	高齢者が自ら下肢筋力を測定評価する方法の提案と人が集まる場所での測定システムの構築
21	京都女子大学 生活造形学科 教授	中野 明	小規模多機能サービス拠点の地域連携と空間構成に関する建築計画的な研究
22	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 准教授	新田 浩	糖尿病と歯周病との相互関係に関する研究
23	奈良県立医科大学 住居医学講座 准教授	服部 耕治	高齢者変形性関節症治療効果判定における超音波関節軟骨定量評価法の開発
24	日本社会事業大学大学院 社会福祉学研究科 大学院生	黄 才栄	在日コリアン高齢者の介護サービス提供マニュアル作成に関する研究ー日本の高齢者と韓国の高齢者との実態比較研究を通してー
25	東京都老人総合研究所 研究副部長	藤原 佳典	高齢者による知的ボランティア活動の認知機能への中長期的効果の検証ー「脳を鍛える」ブームへのエビデンスの提供ー
26	埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター 講師	堀江 公仁子	高齢者のQOLを損なう加齢黄斑変性の疾患遺伝子の探索とその臨床応用

No.	研究代表者		研究課題
27	就実大学 薬学部 教授	森 秀治	ヌクレオサイトカイン抗体を用いた梗塞病態に対する抗体医薬の実用化研究
28	山形県立保健医療大学 保健医療学部作業療法学科 助教	森 直樹	高齢者における姿勢性側彎が呼吸機能及び精神機能に与える影響について
29	東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 助教	森田 久美子	高齢者の生活習慣・性格特性と介護予防プログラムへの興味・関心との関連－利用者ニーズを重視したプログラム提供にむけての検討－
30	早稲田大学大学院 人間科学研究科 大学院生	山崎 幸子	高齢者の外出行動に対する自己効力感尺度の開発－閉じこもり解消プログラムの効果指標のために－
31	(財)北海道高齢者問題研究協会 理事	米本 秀仁	介護保険制度改正後の介護現場の再編過程に関する研究－介護保険事業者及び介護労働者に焦点を当てて－
32	シンガポール国立大学 Yong Loo Lin 医学研究院 助教授	Gerald Koh Choon Huat	Exercise and Mental Health (運動と精神衛生)
33	シンガポール国立大学 日本学部 准教授	Thang Leng Leng	A Study of older men living alone in Singapore (シンガポールにおける一人暮らしの老年男性の研究)

## 1. 平成18(2006)年度 研究助成一覧

### (1) 交通事故・各種災害の防止等分野

No.	研究代表者	研究課題
1	大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 助教授 飯田 克弘	運転者の反応挙動に基づいた高速道路工事規制手法の検討
2	北海道工業大学 社会基盤工学科 助教授 石田 眞二	歩道の平坦性が車いす使用者の生理的、および心理的負担に及ぼす影響分析～札幌市を例に～
3	中部大学 工学部 都市建設工学科 助教授 磯部 友彦	交通バリアフリー化により設置される傾斜路における高齢者の歩行挙動解析
4	豊橋技術科学大学 工学部 生産システム工学系 助手 今村 孝	視覚情報と自動車運転行動にもとづくドライバ認知モデルの構築, および認知・判断能力の評価と運転支援への応用検討
5	琉球大学 工学部 機械システム工学科 助手 大城 尚紀	中心窩視覚に基づく動画像データを用いたニューラルネットによる自動車の安全運転支援システムの開発
6	社会保険中京病院 救急科 医長 織田 順	交通外傷初期診療標準化のための臨床パス導入～施設間のばらつきを減らすために～
7	早稲田大学 人間科学学術院 人間情報科学科 助手 落合 信寿	安全色のリスク認知に関する日韓比較研究
8	広島市立大学 助手 小野 貴彦	救急搬送時の加速度刺激に対する血圧変動のモデリングと最適ドライビング問題への応用
9	筑波大学大学院 人間総合科学研究科社会健康医学 助教授 谷川 武	職業運転者における睡眠時無呼吸症候群スクリーニング法のガイドライン作成に関する研究
10	武蔵野赤十字病院 脳神経外科部長 東京医科歯科大学 臨床教授 富田 博樹	高齢者頭部外傷における高次脳機能障害の実態に関する研究
11	近畿大学 理工学部 機械工学科 助教授 野崎 博路	ドライビングシミュレータを用いた、緊急回避時のドライバの操縦特性把握と、そのアシスト制御技術について
12	北海道消防学校(救急医学) 講師 札幌医科大学救急集中治療部 助手 籾本 恵介	メディカルコントロールによる救急隊指導はpreventable trauma death 減少に効果を上げたか?
13	日本大学 医学部社会医学講座 衛生学部門 助教授 平柳 要	一定の呼気中アルコール濃度が各種パフォーマンス検査成績に及ぼす影響
14	金沢大学 自然科学研究科 機能機械科学専攻 助手 宮崎 祐介	形状忠実な頭部物理モデルと有限要素モデルによる脳外傷発生メカニズムの解明に関する研究

## (2)高齢者福祉分野

No.	研究代表者	研究課題
1	札幌医科大学 医学部脳神経外科 講師 本望 修	EBM(Evidence Based Medicine)およびトリアージュが、欧米においてどのように実践され、普及しているかを、特に脳梗塞を対象として調査・検証する
2	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学専攻(老年社会科学) 博士課程2年 会田 薫子	高齢者福祉施設の入所者に対する人工呼吸法の差し控えと中止の実態:医師に対する質的研究
3	山口県立大学 看護学部 助教授 赤井 由紀子	老人の生活習慣と睡眠パターンの関連についてー施設入所老人と在宅老人の比較ー
4	東京都老人総合研究所 自立促進と介護予防研究チーム 主任研究員 岩佐 一	地域在宅虚弱高齢者を対象とした訪問型介入プログラム(「自分史くらぶ」)が訪問ボランティアに及ぼす教育効果の測定尺度の作成
5	東京歯科大学市川総合病院 精神・神経科 客員研究員 江口 洋子	軽度認知機能障害(MCI)患者の財産管理能力の様態の検討と成年後見制度における分類の試み
6	東京大学大学院 医学系研究科加齢医学 講師 江頭 正人	高齢者における内臓脂肪蓄積と危険因子の重複に関する臨床研究
7	東北大学病院 老年科 助手 海老原 覚	アロマセラピーを利用した転倒予防法の開発
8	東北大学大学院 医学系研究科 創生応用医学研究センター 助教授 鎌倉 慎治	新規骨再生材料を用いた骨造成による咀嚼機能の改善
9	東京福祉大学大学院 助教授 金 貞任	介護サービス提供者の要介護高齢者の終末の臨床場所に関する研究ー介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)を中心としてー
10	名古屋大学大学院 医学研究科(老年科学) 助教授 葛谷 雅文	訪問看護サービスの在宅虚弱高齢者の予後ならびに在宅療養の継続性に与える効果に関する研究(Ⅲ)
11	東京大学大学院 総合文化研究科 助手 久保 啓太郎	腱組織の粘弾性および血流量の変化からみた加齢変化とトレーニング効果
12	杏林大学 医学部高齢医学 助教授 神崎 恒一	高齢者の虚弱増悪要因としての大脳白質病変の臨床的意義に関する研究
13	東京大学大学院 総合文化研究科 助手 神崎 素樹	姿勢動揺に応じた下肢筋群の適切な活動様式に基づくバランス能力評価法の開発～高齢者転倒予防のための神経生理学的観点からのスクリーニング検査～
14	東京電機大学 工学部第一部 建築学科 非常勤講師 古賀 誉章	「馴染みの環境」活動における施設環境づくりの評価に関する研究
15	高崎健康福祉大学 健康福祉学部医療福祉情報学科 講師 児玉 直樹	認知症高齢者個人に対する介入効果判定のための認知機能データベースの開発

No.	研究代表者		研究課題
16	鹿児島大学 工学部建築学科 助手	鈴木 健二	医療制度の改革に伴う療養病床から介護施設への転換・改修に関する事例的研究
17	農業・食品産業総合研究機構 花き研究所 研究員	多田 充	認知症高齢者に対する園芸療法プログラムの開発・評価に関する研究
18	早稲田大学 理工学学術院 助手	土井 幸輝	高齢者・障害者に配慮した製品設計に必要な感覚特性データベース作成に向けて—加齢が指先の触知覚特性に及ぼす影響に関する研究—
19	新潟薬科大学 薬学部 薬剤学教室 講師	鍋倉 智裕	高齢者における医薬品副作用発現リスク低減化に関する基礎的研究
20	京都大学医学部附属病院 老年内科 助手	西岡 弘晶	認知症高齢者ケアにおけるバリデーション療法の効果に関する実践的研究
21	姫路獨協大学 医療保健学部 教授	藤野 英己	超短波ジアテルミーを用いた局所加温による廃用性筋萎縮の予防効果の検討
22	東京大学医学部附属病院 無菌治療部 助手	細谷 紀子	超高密度オリゴヌクレオチドアレイを用いた骨髄異形成症候群の発症機構の解明と創薬への応用
23	大阪府立大学 人間社会学部 教授	三野 善央	認知症の経過に及ぼす家族感情表出の影響と家族心理教育の確立
24	名古屋大学 医学系研究科 老年科学 客員研究者(臨床心理士)	茂木 七香	次世代を担う若年者へ「加齢教育」に関する研究—高齢者や認知症患者を社会全体の中で支えてゆく環境作りのために—
25	千葉大学 看護学部 COE研究員	吉永 亜子	足浴で睡眠を促すために、効率よく深部体温を低下させる足浴条件を導出する

## 1. 平成17(2005)年度 研究助成一覧

### (1) 交通事故・各種災害の防止等分野

No.	研究代表者	研究課題
1	日本医科大学附属千葉北病院 救命救急センター 教授 益子 邦洋	交通事故死傷者数の削減を目的とした重点的交通事故マイクロ調査の意義に関する研究
2	日本大学 理工学部 社会交通工学科 専任講師 安井 一彦	スキッドマークの付着状況を用いた交差点危険度評価手法の開発と適用
3	栃木県立宇都宮工業高等学校 土木科 教諭 相原 良孝	自転車交通マナー改善に関する研究
4	茨城県立医療大学 保健医療学部作業療法学科 講師 池田 恭敏	脳損傷者の高次脳機能に関する自動車運転適性評価法の確立
5	早稲田大学 人間科学学術院 教授 石田 敏郎	交通場面におけるリスクの連続的評価に関する研究
6	東京大学大学院 医学系研究科 国際地域保健学教室 助手 市川 政雄	高校生の自転車運転中の携帯電話使用と携帯電話使用時の自転車事故
7	長岡技術科学大学 工学部 助手 桂 誠一郎	走行環境変動に対する安全性とユーザの操作性を考慮したインテリジェント車椅子の開発研究
8	徳島大学大学院 工学研究科 教授 近藤 光男	高齢歩行者教育システムを用いた交通安全講習の効果計測に関する研究
9	九州産業大学 工学部バイオロボティクス学科 助教授 中西 義孝	真実立体映像によるドライビングシミュレーションとテクノストレス発生機序の解明
10	新潟心理学研究所 代表者 新潟大学 名誉教授 長塚 康弘	交通事故防止対策の現状分析・評価と効果的対策の具体化についての心理学的研究
11	筑波大学大学院 教育研究科 カウンセリング専攻 大学院生 藤田 佳男	ドラビリックンー障害者がモビリティを再獲得するための有効視野測定ソフトウェアの開発ー
12	昭和大学 医学部救急医学 助教授 昭和大学病院 救命救急センター 病棟医長 三宅 康史	外傷症例登録制度を利用した交通事故による外傷と交通事故データベースの事故形態とのマッチングー日本独自の交通事故分析と交通事故死・後遺症の軽減を目指してー
13	福井工業大学 工学部 教授 森 康男	高齢運転者の速度と注視点と心拍数に着目した標識等高速道路施設設計の改善に関する研究
14	香川大学 工学部 教授 山口 順一	交差点の横断歩道における高齢者・非健常者の安全確保のための監視方法および信号機制御との統合

## (2)高齢者福祉分野

No.	研究代表者	研究課題
1	国立精神神経センター 神経研究所疾病研究第五部 部長 荒木 敏之	Sir2活性化による神経細胞の老化・変性からの保護機構に関する研究
2	高知大学医学部附属病院 リハビリテーション部 助教授 石田 健司	山間部に居て介護予防支援事業の恩恵を受けにくい虚弱高齢者に対し、双方向・高精細リアルタイム通信システムを導入し、遠隔地支援を通して、介護予防事業を可能にすると共に、その効果を高めるための研究
3	宮崎大学 医学部解剖学講座 分子細胞生物学分野 教授 今泉 和則	異常タンパク質蓄積による細胞老化の分子機構－老年病の先駆的予防・治療法の開発－
4	ミネソタ州立大学 公衆衛生学 疫学部門 客員研究員 大平 哲也	高齢者のうつ予防のための望ましい生活習慣についての前向き研究
5	東北大学大学院 歯学研究科 助手 金高 弘恭	新しい摂食・嚥下リハビリテーションシステムによる高齢者の健康増進支援
6	東京医科歯科大学 難治疾患研究所分子代謝医学分野 助教授 亀井 康富	FOXO1は「健康長寿遺伝子」であるか？
7	東北大学病院 矯正歯科 助手 菅崎 弘幸	加齢が歯周組織骨代謝に与える影響の分子生物学的解析
8	熊本大学大学院 医学薬学研究部腎臓内科学 助手 北村 健一郎	プロスタシンを標的とした食塩感受性高血圧症および高齢者の低ナトリウム血症の診断薬・治療薬の創薬
9	名古屋大学大学院 医学系研究科老年科学 助教授 葛谷 雅文	訪問看護サービスの在宅虚弱高齢者の予後ならびに在宅療養の継続性に与える効果に関する研究(Ⅱ)
10	徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 講師 桑波田 雅士	要介護高齢者のたんぱく質・エネルギー低栄養状態(PEM)に関する分子栄養学研究
11	北星学園大学 文学部 心理・応用コミュニケーション学科 助教授 後藤 靖宏	高齢者に対する音楽療法の科学的根拠の解明－潜在記憶と感情心理学の観点からの生理心理学的研究－
12	国立保健医療科学院 生涯保健部行動科学室 室長 小林 正子	高齢者が自ら実践できる体重による健康管理法の提案
13	北海道大学大学院 医学研究科 皮膚科学分野 助教授 澤村 大輔	自己免疫性疾患である類天疱瘡が高齢者に好発する機序の解析
14	国立長寿医療センター研究所 老化機構研究部免疫研究室 室長 清水 淳	老齢時におけるCD4T細胞の機能回復法の開発
15	国立病院機構水戸医療センター 医療社会事業専門員 新保 祐光	東アジア5カ国(日・韓・中・台・香)の社会福祉援助活動の価値における文化的特性比較－社会福祉専門職の倫理綱領の比較から－

No.	研究代表者		研究課題
16	琉球大学 医学部器官病態医科学講座 泌尿器科学分野 助教授	菅谷 公男	高齢者の夜間頻尿を誘発する水分過剰摂取の利点と問題点に関する研究
17	豊橋技術科学大学大学院 工学研究科知識情報工学系 助教授	杉浦 彰彦	合成顔画像技術を用いた軽度脳障害の早期発見とリハビリ支援
18	京都大学大学院 文学研究科 教授	杉浦 和子	日本および合衆国の地方自治体による高齢者のための防災対策と医療支援に関するデータベースの作成と分析
19	千葉大学 看護学研究科 訪問看護学教育研究分野 大学院生	園田 芳美	死を間近にした在宅高齢患者家族の死の受け止めにに関するケアにおける訪問看護師の態度
20	日本歯科大学歯学部附属病院 口腔介護・リハビリテーションセンター 講師	田村 文誉	食介護の適正化が要介護高齢者の摂食・嚥下機能に及ぼす影響
21	大阪府立大学大学院 社会福祉学研究科 大学院生	張 允楨	介護職員の介護肯定感とその要因に関する研究－介護ストレス対処行動との関連を通じて－
22	帝京大学 福岡医療技術学部 理学療法学科 助手	中原 和美	介護保険対象者への30秒椅子立ち上がりテストの基準値の作成について
23	学校法人湘南ふれあい学園 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 理学療法学科 教員	縄井 清志	介護保険制度における福祉用具使用時の安全に関する研究－印旛村における4年の変化－
24	京都大学医学部附属病院 老年内科 助手	西岡 弘晶	高齢者の咀嚼能力が認知機能及び栄養状態に及ぼす影響
25	慶應義塾大学 医学部衛生学 公衆衛生学教室 助手	西脇 祐司	介護予防ストラテジーの優先順位策定に関する疫学研究
26	東京大学大学院 工学系研究科 化学生命工学専攻 助手	深尾 太郎	アテローム動脈硬化に関与する単球／マクロファージ特異的microRNA群の同定
27	京都大学 医学部保健学科 作業療法学専攻 教授	三谷 章	高齢者運動障害回復の神経基盤となる脳機能代償機構の研究
28	九州工業大学大学院 生命工学研究科生体機能専攻 助手	宮田 昌悟	変形性関節症の早期発見を目指すガドリニウム造影MRI診断技術に関する基礎的研究
29	早稲田大学 先端科学健康医療融合研究機構 生命医療工学研究所 助手	村岡 哲郎	筋・腱弾性評価に基づく高齢者を対象とした関節柔軟性改善のためのトレーニング法の開発
30	山口大学 農学部 教授	山本 晴彦	高齢者に配慮した豪雨・高潮災害時における防災情報通信システムの改良と減災に向けた利活用の提案

No.	研究代表者		研究課題
31	東北大学 加齢医学研究所 教授	山家 智之	在宅医療における入浴中の心血管イベント発生のリスク管理
32	順天堂大学 医学部公衆衛生学 大学院生	羊 利敏	高齢者自宅死亡とその影響要因に関する社会医学研究